千葉市
手をつなぐ育成会だより

第 171 号
令和５年(2023)11月９日
千葉市手をつなぐ育成会
会 長 成田 智子
千葉市稲毛区作草部2-4-5
でい・さくさべ２階
TEL・FAX 043-206-4050
✉ chibacity-hands@ikusei-kai.jp

『我が子の権利を知る』
～本人の意思と自己決定を尊重するために～

佐久間 水月氏

9月7日(水)、でい・さくさべにて、弁護士の佐久間水月氏をお迎えし、「『我が子の権利を知る』～本人の意思と自己決定を尊重するために～」についてご講演いただきました。参加者は50人でした。

佐久間氏は様々な形で障害者支援の活動をされていますが、でい・さくさべの第三者委員として、毎月「お話し会」を実施いただいています。

はじめに～「人権」理念(BE)&日々実践(DO)

お話し会では「『自分のお話を聞いてくれる人』になることが重要」で、利用者さんにとって普通に話せる雰囲気を作っています。**大切にされる権利・自分自身を大切にする権利**を尊重するという「人権」理念を大切にし、そのために試行錯誤しながらもプロセスを大切に、ご本人と関係者との橋渡し、つなぐ、といった日々の実践(DO)を繰り返しています。

知的障害児・者の自己決定支援ハンドブック

新宿区手をつなぐ親の会発行の「イキイキ生きる私の大切な権利」では、人生の主人公として生きるための26権利について書かれています。

「あなたも大切、私も大切」という敬意を持つこと。「私のことは私に言わせて、私が選びます」という意思を表明すること。「悲しいこと・苦しいことをされません。やめて・いやだと言います」という虐待の禁止など。

みんなの暮らしの中にも「権利」があり、それが守られている生活では、あなたも私も大切にされます。お互いを大事にし、認め合うところから「権利」のある生活が始まります。

本人たちへのメッセージ

一人一人がみんな大切な存在です。自分自身を大切にすること、好きでいること。周りのみんなのことも大切にすること。将来のこと、自分に関することは自分で選んで自分で決めること。困ったことがあったら、自分のペースで出来事や気持ちを伝えて相談することが大切です。

毎日の小さなことを大切に

毎日の生活自体が、人格の基盤になります。学び・体験・挑戦を積み重ね、その中で失敗したり、何かを自分で決めたりする経験をさせることが大切です。

また、声に出せない思い、言葉にならない思いを読み取り・読み解く・聞き取ることで意思決定支援につながります。楽しくコミュニケーションを取り、何気ない普段のやり取りを大切にし、本人不在の支援をしないことが大切です。また、お金の大切さを教えることも大事なことです。

今、親が取り組むべきこと

我が子に対し、様々な願い・希望・心配があると思います。だからこそ知識の習得や情報収集が重要になります。早めにビジョンを持ち、ある程度の貯蓄・収支管理など出来る準備をし、ネットワークを広げ、本人の応援団を作っていくことが大切です。成育歴、アルバムを作ることも我が子を伝えるために良いでしょう。

また親は親、子は子、別の人格であることを意識し、少しずつ「子離れ」をしていきましょう。医療・福祉とつなげ、今のうちに自分以外の支援者をたくさん見つけておきましょう。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

参加者からは、佐久間先生の明るく楽しいお話は、とても分かりやすかった、これからは子供との会話をもっと大切にしたい、子育てのヒントをいただいた、などの感想が聞かれました。

(広報部 御代)

啓発活動
温かい将来を願って

7月3日(月)7時から8時30分JR千葉みなと駅海側ロータリー付近で啓発活動を行いました。千葉県健康福祉部福祉推進課、千葉県中央障害者相談センター、千葉市障害者自立支援課、千葉障害者就業支援キャリアセンター、障害者・就業センター千葉障害者キャリアセンターの方々、花見川区、稲毛区、若葉区、美浜区、中央区の障害者基幹相談支援センターの方々、育成会からは元副会長の長谷川悦子さん、西村が参加しました。

『障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例』に基づく、相談先が記載されたティッシュ450枚、障害者差別解消法チラシ500枚、ヘルプカードチラシ250枚を配布しました。蒸暑い日でした、通勤、通学で足早に駅に向われる方、犬の散歩やウォーキングでたまたま通りがかった方、こちらの声がけに足を止めて、チラシに目を落とし受け取って下さる方、ありがとうございました。

娘は高校2年生、保育所、小学校、中学校と地元に通い、先生、同じ学年の子達ばかりでなく、年上はもちろん年下の子達からも見守られ、助けてもらって学校生活を過ごしてきました。先生方のご指導のお陰も多くありますが、周りの子達は義務感もあるとは思いますが、小さな頃から娘を知っていてくれて、自然に接してくれている子も多かったと思います。本当にありがたく思っています。

この先娘が社会の一員になり日常的に公共交通機関を使う日が来るかもしれません。娘と同じ様に支援級、支援学校で育った子達が電車、バスを使う。誰かの迷惑になってしまったり、誰かに助けを求め無くては、乗り越えられない問題が起こる時もあるかもしれません。そんな時に娘の地元の子達が娘達に接してくれた様に、温かく見守ってくれたら。そんな将来を思いながら、啓発活動に参加させて頂きました。

(広報部 西村)

育成会のうごき 7月～10月

7月3日	千葉みなと駅啓発活動・チラシ配布(P.4)
〃	研修会「我が子のライフステージを考える Part2」(P.1)
12日	養護教育センター運営協議会
13日	令和５年度千葉市障害者社会参加推進協議会
23日	令和５年度第1回千葉市地域自立支援協議会全体会
24日	要望書懇談会(P.3)
25日	全育連「27団体・急激な物価高騰や賃金上昇を踏まえた緊急要望」衆議院議員宛提出
〃	千葉市障害者等日常生活用具給付等種目検討会
9月5・11・13・15・27日	各区おしゃべり会
6日	研修会「我が子の権利を知る」～本人の意思と自己決定を尊重するために～(P.1)
11日	千葉県育成会権利擁護委員会
〃	千葉市障害者施策推進協議会
12日	稲毛区支え合いのまち推進協議会
14日	令和５年度心の輪を広げる体験作文及び障害者週間のポスター審査委員会
〃	福祉講話（キャラバン隊ららら）
15日	こども基本条例検討委員会
25日	千葉市療育センター大規模修繕説明会
10月4・18日	話そう会（せいかつ委員会）
5日	第1回だれもが遊べる広場づくりワークショップ
9日	こども基本条例検討委員会
13日	特別全国障害者スポーツ大会千葉市代表選手団結団式
29日	全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会60周年記念事業「親の本音・きょうだいの本音」シンポジウム
30日	千葉県育成会権利擁護委員会

◆千葉市立海浜病院について

千葉市では千葉市立海浜病院の老朽化への対応として、現病院の機能を基盤とした新病院を移転新築することになりました。

育成会では、新病院整備基本計画、基本設計の概要説明会に昨年、10月に出席しました。場所は千葉市美浜区若葉3丁目1番27、1番41の一部、幕張総合高校の隣となります。開院予定は、令和8年春頃です。

編集後記

◆高等部の息子は、通学バスで学校に通っていますが、先生からは、進路の幅が広がると、自力通学を勧められています。うちには幼児もいるのでいつ通学の練習をするか、悩みどころ。一人での通学は不安ですが、とりあえず挑戦させようと思います。(広報部 野口)

◆高2の長女。どうやら「推し活」に目覚めたらしく「LIVE映像を見たいからテレビをつけて」とお願いするように。画面をじっと見つめる目は真っ直ぐで真剣。嫌がるお風呂も推しの曲と一緒ならすんなり入ってくれるので母は大助かりです。(広報部 齊藤)

この広報紙は「赤い羽根共同募金」の助成により発行されています。